

### 3 名古屋大学 文学部合格 / 25 回生 2006 年(平成 17 年度)卒

勉強法は色々あると思うので、参考にならないかも知れませんが、自分が受験までやってきたことを記していきます。

英語は仮定法や比較などの基本文法を早めに身に付けます。その際自分で好きな例文を作ると良いのでは。基本文法さえできれば大抵の文章が読めます。次に、前置詞、副詞、形容詞を覚えます。特に前置詞の概念を把握すると、大部分の熟語が覚えなくても分かるようになります (in A's way を直訳すると「Aの道の中(に立つ)」つまりAの邪魔をすること、などのように)。単語を覚えるのは、あくまで長文の読解を手助けするためであり、単語=英語力ではないです。長文を必ず読んでください。

数学は、苦手だったのであまり書けません、とにかく基本問題を解けるようにして、得意なところはレベルの高い問題を解いて磨きました。数学こそ先生を活用させて頂いた方がいいと思います。分かりやすく教えてくれます。

国語は正直、古典しか勉強してなかったです。でも、苦手な人は全部勉強してください。漢字、古語単語、漢文句形は覚えて使うだけです、それでセンターの4分の1は得点できます。評論も小説も、頭の中で情景、構造を描いてください。評論は哲学的な考え方に慣れ、古文は日本史を漢文は中国史、思想を好きになってください。

歴史は暗記しようとせず、つながりを覚えてください。因果関係が分かれば歴史は十分です。公民は関心がないと理解しにくいと思います。独学に近い勉強になると思います。

生物は授業をしっかりと聞いて、その日に復習します。面倒ですが、受験前に基本ばかりやっている時間はないからです。

僕は基本的に演習をひたすら解いて慣れました。どの教科も出題者の意図が分かるようになるまでやると上出来です。

最後に、自分の信条をもつこと。僕の場合、自分のやっていることを信じてやっていました。自分を信じるのが大切だと思います。

### 4 新潟大学 教育学部合格 / 25 回生 2006 年(平成 17 年度)卒

高校3年生の1年間は、今まで生きてきた中で一番勉強しました。1・2年生の頃は、「受験勉強」という勉強はしなかったものの、英語の予習や小テストの勉強は、部活でどれだけ疲れていても必ずやっていました。今思えば、予習や小テストの勉強がすべて3年生の受験につながっていました。僕が1・2年生の頃にやっておけばよかったと思ったことは2つあります。

1つ目は古典の予習です。英語の予習はやっていたけど、古典に関しては個人的に苦手な教科だったので、ほとんどやったことがありませんでした。そのせいで3年生になってから本当に苦労しました。少し難しい問題になると話の流れもつかめなくなります。そうするとセンター試験や私大でかなり足を引っ張られることになるので、苦手だからといって逃げるのではなく、苦手だからこそ1・2年の頃からやるべきだと本当に思いました。

2つ目は復習です。復習は予習に比べて点検されることがないので、ついついさぼってしまいがちですが、復習をすると本当に頭の中によく残るのでオススメです。部活などでなかなか自分から進んでできないことだけど、少しノートを見直すだけでも全然違うから、1日30分でもいいから時間をとって取り組んでほしいと思います。